



④吉村県知事や国会議員、首長らで行われた献入れ ⑤起工式の前に執り行われた施工業者主催の安全祈願祭

100名を超す関係者の出席のもと12月9日、国道13号新庄金山道路の起工式が執り行われました。新庄金山道路は、起工式の会場となった新庄市昭和地区から金山町朴山地区までの区間で延長は5・8km。毎年冬には豪雪に見舞われる当地域。冬期間の交通機能改善のためにも、平成30年3月に新規事業化となった金山道路などと合わせ、開通が

国

道13号新庄金山道路起工式 交通ネットワーク整備へ向けてさらなる前進

待ち望まれます。起工式では、アトラクションとして、保存会の皆さんが稲沢番楽を披露。吉村県知事は「県や最上地域のためにも、一日も早く開通するとよい」とあいさつされました。また、起工式の前には工期中の無事故・無災害を祈り、安全祈願祭を挙行。施工業者は「安全かつ迅速な施工を心がける」と決意を述べていました。

長

きにわたり地域振興に大きく貢献 矢口外之助さんが総務大臣表彰を受賞

長きにわたる様々な地域活動が評価され、矢口外之助さん（下向）が平成30年度自治会等地域による団体功労者総務大臣表彰を受賞されました。矢口さんは平成15年から現在まで下向区長として地区振興に尽力。平成25年からは有屋地域公民

館長連絡協議会会長、町区長公民館長連絡協議会副会長に就き、町全体の振興にも貢献しています。さらに地区内の世代を超えた交流促進にも注力。矢口さんは「これからも幅広い年代による地域づくりを展開したい」と話していました。

12月3日に鈴木町長を訪問し、受賞を報告された



12月19日に開催された祝賀会では約170名が受賞を祝福した



秋の褒章「藍綬褒章」 町防犯協会長の 大場征志さんが受賞

公共の福祉に尽力された人に授与される「藍綬褒章」を大場征志さん（山崎）が受賞されました。大場さんは約40年にわたり町防犯協会の活動に携わり、地域の安全のために尽力。車上荒らし撲滅に向けた無施設車両の調査や青色回転灯付き防

犯パトロール車の配備などの功労が大きく評価されました。平成13年から町防犯協会長に就くほか、最上地区少年補導員や最上保健所薬物乱用防止指導員を務めるなど、現在も地域の防犯活動の旗振り役として、活躍されています。

スポーツの普及・啓発に貢献 ス 幅野宏一さんが全国功労者表彰を受賞

第59回全国スポーツ推進委員協議会鹿児島大会が鹿児島アリーナで開催され、町スポーツ推進委員長の幅野宏一さん（羽場）が、功労者表彰を受賞しました。

幅野さんは、平成12年に体育指導員（当時の呼称）に就任。18年間にわたり、町のスポーツの普及・啓発、スポーツを通じた青少年の健全育成に尽力してきました。また、平成14年には県内で2番目となった総合型地域スポーツクラブ「金山健康ふれあいスポーツクラブ」の設立に貢献。平成16年からスポーツ推進委員長、平成29年からは最上地区協議会の副会長としてもリーダーシップを発揮しています。さらには、若手スポーツ推進委員の育成にも力を注ぎ、現在も活躍中です。

表彰式の会場には、町スポーツ推進委員の5名が自主研修を兼ねて参加し、幅野委員

11月27日に岸教育長を訪問し、受賞を報告された



長を祝福しました。「歴代の先輩方、そして現在のスポーツ推進委員の皆さんの支えがあったおかげでここまでやってこられた。すべてのスポーツ関係者の皆さんに心から感謝したい。この表彰を契機とし、さらなる町スポーツの振興・発展のため、仲間たちと共にできる活動を継続していきたい」と祝辞を述べました。

ついにシーズンイン

神室スキー場営業に向けて安全祈願祭

シーズンインを目前に控えた12月13日、神室スキー場に従業員や関係者が集まり安全祈願祭が執り行われました。鈴木町長は「雪を活かした『かんじきトレッキング』など、様々な方法でスキー場をPRしていく。たくさんの方の来場者を楽しんで

いただけるようご協力をお願いしたい」とあいさつされました。今シーズンも雪まつりやバレンタインウィーク、毎週金曜日のレディースデーなど、様々なイベントを開催予定。多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

今シーズンの無事故とたくさんの方の来場者で賑わうよう祈願された



町除雪班の20名。12月中旬からの降雪で現在フル稼働！

町道の除雪はお任せあれ 町除雪班の安全祈願祭で「無事故宣言」

12月1日、町除雪ステーションで町除雪班の安全祈願祭を執り行いました。笹原一徳班長（安沢）は「除雪作業の重要性を十分認識し、安全で安心な冬期間の道路環境を確保するため、一致団結して作業に務める」と強い意気込みを語りました。

続けて「事故のない除雪作業を行うため、日頃から健康と体調管理に留意したい。交通規則を遵守し、事故を起こさないよう万全の体制で臨む」と無事故宣言が表明され、20名の班員の皆さんは引き締まった表情を浮かべていました。